

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 笠岡工業 高等学校
実践場面	白石島アマモ場のドローン測量
実践日時（時期）	令和6年6月3日（月）
対象生徒（学年）	環境土木科3年生7名（課題研究 ドローン班）
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 笠岡市からの依頼で実施、天野産業（株）、（株）小田組と連携 ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input checked="" type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他
実践の内容	
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡工業高校では、「笠エテクノ工房」として工業高校で学んできた知識や技術を生かして地域の方々が困っている問題を解決している。 ・笠岡工業高校環境土木科では、平成30年度から全国でも珍しい「ドローン測量」の実習に取り組んでいる。 ・笠岡市は、昔のような豊かで美しい海を取り戻すため、魚の産卵場所や稚魚のすみかとなるアマモ場の再生を目指しており、笠岡工業高校も、アマモ場の面積測量やアマモ種まきボランティアに参加している。 ・これまでも、笠岡工業高校と天野産業（株）、（株）小田組はドローン測量に関する技術指導などで連携を行っている。 <div style="text-align: right;">  </div> <p>【実践内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマモ場の拡大状況を確認するため、天野産業（株）の協力を得て、6月3日（月）、白石島において、「笠エテクノ工房」のドローン班が、アマモ場のドローン測量を行った。 ・当日、生徒は天野産業（株）所有の船で白石島へ移動し、アマモ場の生育面積をドローンで空撮して調査した。 ・（株）小田組の協力を得て、空撮データを処理するための解析技術を学び、座標処理、アマモ場面積の算出が可能となった。 <div style="text-align: right;">  </div>	
実践による効果等	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んでいるドローンの操作やデータ解析など、実践的な技術を駆使してアマモ場の現状を詳細に記録することができた。 ・笠岡市からの依頼について、地域の企業と連携することで、より効果的な環境保全活動が実現できた。 	

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）